



宮城県業務説明会

薬剤師

**Miyagi
Prefectural
Government**

薬剤師の仕事

<p><u>01 薬事衛生</u></p> <p>医薬品医療機器等法に基づく許可、指導取締、麻薬取締、薬物乱用の防止</p>	<p><u>02 食品衛生</u></p> <p>食品衛生法に基づく食品等事業者への許可、監視指導、食品の行政検査</p>	<p><u>03 環境衛生</u></p> <p>生活衛生営業六法（旅館、理美容、公衆浴場など）に基づく営業許可、衛生指導</p>	<p><u>04 公害対策</u></p> <p>大気汚染、騒音・振動、悪臭対策、水質・土壌汚染対策</p>	<p><u>05 資源循環、廃棄物規制</u></p> <p>廃棄物発生抑制、3R推進、廃棄物適正処分</p>	<p><u>06 環境政策の企画立案</u></p> <p>環境基本計画の策定、温暖化対策、再生可能エネルギー等の導入促進</p>	<p><u>07 原子力安全対策</u></p> <p>原子力安全、原子力防災、原子力防災アプリの維持管理</p>
--	---	---	--	---	---	---

主な配属先

- 県庁（環境生活部、保健福祉部、復興・危機管理部）
- 地方機関（保健所、研究機関）

上記以外にも、人事交流やチャレンジ制度で他の部局に所属している職員がいます。

自己紹介

愛媛県出身 (東京都での生活が長いです)

H29.3月

東京都内の大学（薬学部）卒業

R3.4月～

仙南保健所 環境衛生部環境廃棄物班

廃棄物処理業・施設等の許認可、産業廃棄物の不法投棄等に関する行政指導等

R6.4月～

環境生活部 次世代エネルギー室地域共生推進班

地域と共生した再生可能エネルギーの理解促進、事業者向け補助金事務等

現在入庁5年目

志望動機

なぜ公務員だった？

- 薬剤師の資格を生かして社会に広く貢献したいと思ったから
- 幅広い分野の業務に従事したいと思ったから

なぜ宮城県庁を選んだ？

- 宮城県に魅力を感じ、地域志向の働き方をしたいと思ったから
- 仕事で一緒した宮城県職員の方が生き生きしていたから

これまでに担当した業務

仙南保健所 環境衛生部環境廃棄物班

○事業者等への行政指導

管内の不法投棄物や不適正保管された産業廃棄物の撤去指導などを行いました。



○産業廃棄物処理業などの許認可

廃棄物の処理及び清掃に関する法律や、使用済み自動車の再資源化等に関する法律などの許認可を行いました。



これまでに担当した業務

環境生活部 次世代エネルギー-室地域共生推進班

○再エネ学習イベントの開催

再エネの普及啓発のため、小学生親子向けにバスツアーを開催しました。



○事業者向けの補助金交付事務

再エネを活用した地域づくりを行いたい事業者向けに補助金交付を行いました。



入庁前のイメージとギャップ

- ✓ 薬剤師の業務は技術的で人と関わる機会が少なそう…
実際は、相談対応や許認可事務、監視指導、関係機関との調整など…県庁・保健所を問わず人と関わる場面は多い
- ✓ 働き方改革が進んでいなさそう…
時差勤務、テレワーク、オンライン会議、決裁の電子化の導入・推進など、職員の働きやすさの向上に努めています

担当業務で大変だったこと

◆ 保健所にいたころ…

- 事業者や県民の方に理解してもらいたいことが伝わらない
- 思うように業務が進められない
他者に「理解してもらおうこと」と「行動してもらおうこと」の差を実感

◆ 県庁に異動してから…

- 初めて知る知識が多い
- 保健所時代と業務内容のギャップに戸惑う
初めての企画・広報業務、補助金業務、契約事務など…毎日が勉強の日々

業務で心掛けていること

- ◆ 助け合いの精神、仕事はチームで行うもの
県職員の業務の中で、1人だけで成り立つ仕事はほとんどありません。
所属という1つのチームで仕事することを意識しながら、相手の立場で物事を考えて行動し、困った時こそ助け合うことを心掛けています。
- ◆ 悩んだ時は原点に立ち返る、目的意識を大切に
悩んでいる時は本来の目的を見失いがちなので、一度立ち止まることを心掛けています。目的を意識することで、状況に応じた適切な選択ができることが多いです。

職場の雰囲気

- ◆ 周円には頼れる上司、同僚が多く相談しやすい
挑戦を後押ししてくれる上司や同僚のサポートがあり、安心して業務に取り組める環境
- ◆ 時差勤務、在宅勤務などの制度を活用しやすい
全庁的に働きやすい職場作りに取り組んでいるので、プライベートの充実を図りやすい環境

働いて感じる宮城県職員の魅力

- ◆ 入庁数年以内でも、担当として企画や指導方針の立案に携わることができ、上司に提案しやすい土壌がある
- ◆ 宮城県をもっと良くしたい！と考えている職員が沢山いるので、前向きに仕事に取り組むことができ、励みになる

公務員試験対策

◆ 小論文対策

過去問の練習をメインで行っていましたが、通勤時にニュースに目を通し、気になるニュースがあれば自分の考えをスマホにメモして、アウトプットの練習をしていました。

◆ 面接対策

特別な面接対策は行っていませんでしたが、小論文対策が面接対策を兼ねていたと思います。

先輩職員からのメッセージ

仕事内容も重要ですが、「どんな風に/どんな人と働きたいか」という視点も職場を選ぶ基準の1つだと思います。

人生で大切にしたいことは何か、職場に求めるものは何かを考えながら、ぜひ自分らしく働ける職場を探してみてください。

薬剤師として様々な活躍の場がある中で、宮城県職員として働く薬剤師に魅力を感じてもらえると嬉しいです。

